

<b>1 建物概要</b>		BEE	<b>1.8</b>	<b>A</b>	★★★★★
建物名称	京都四条ホテル新築計画	使用CASBEE評価マニユ CASBEE-京都-建築(新築)2018年版			
延床面積	3,529.52 m <sup>2</sup>	使用CASBEE評価ソフト CASBEE京都-新築2018(v.1.0)			
用途	ホテル				
	ホテル,				

<b>2 重点項目への取組度</b>	
キーワード	取組度
1 大切に使う	
2 とともに住まう	
3 自然からつくる	

### 3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

#### 1 大切に使う 合計点 25 /41

<b>■長寿命化</b> <span style="float: right;">合計点 10 /20</span>			
◇メンテナンスの容易性	◇物理的長寿命		
Q2/ 3.3.1 空調配管の更新性	スコア <b>3</b>	Q2/ 2.2.1 躯体材料の耐用年数	スコア <b>3</b>
Q2/ 3.3.2 給排水管の更新性	スコア <b>3</b>	建築基準法を満たす耐用年数	
Q2/ 3.3.3 電気配線の更新性	スコア <b>3</b>		
Q2/ 3.3.4 通信配線の更新性	スコア <b>3</b>		
Q2/ 3.3.5 設備機器の更新性	スコア <b>3</b>		
(注 上記5項目のスコアの平均が合計点に加工される)		◇社会的長寿命	
構造部材を痛めることなく各種設備更新が可能		Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画	スコア <b>3</b>
		Q2/ 3.1.2 空間の形状・自由さ	スコア <b>1</b>
		バリアフリー条例義務基準の対応	

<b>■省資源</b> <span style="float: right;">合計点 14 /20</span>	
LR2/ 2.1 材料使用量の削減	スコア <b>2</b>
LR2/ 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	スコア <b>3</b>
LR2/ 2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	スコア <b>5</b>
LR2/ 2.6 部材の再利用可能性向上への取組	スコア <b>4</b>

内装仕上げ材におけるリサイクル材の仕様  
RC躯体と乾式仕上による分別容易な内装計画

<b>◆独自加算項目</b> <span style="float: right;">合計点 1 /1</span>		
LR2/ 2.1 材料使用量の削減	主要構造部が木造躯体である場合で、「持続可能な森林から産出された木材」を使用しており、うち地域産木材を使用している。	対象外
LR2/ 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	主要構造部に使用した「持続可能な森林から産出された木材」のうち、地域産木材を使用している。	対象外
LR2/ 2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	「持続可能な森林から産出された木材」のうち、地域産木材を使用している。	0

#### 2 とともに住まう 合計点 24 /37

<b>■自然とともに住まう</b> <span style="float: right;">合計点 10 /15</span>		<b>■地域とともに住まう</b> <span style="float: right;">合計点 6 /10</span>	
◇自然を感じられる計画	◇地域環境やコミュニティへの配慮	Q3/ 3.1 地域性への配慮、快適性の向上	スコア <b>4</b>
Q2/ 1.2.1 広さ感・景観	スコア <b>4</b>	LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善	スコア <b>2</b>
Q3/ 1 生物環境の保全と創出	スコア <b>3</b>	LR3/ 3.3.2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	スコア <b>対象外</b>
Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア <b>3</b>	中庭の設置による広さ感確保、景観への寄与、緑量の確保	
中庭の設置による広さ感確保、景観への寄与、緑量の確保		雨降りスペースによる地域貢献	

<b>■歴史とともに住まう</b> <span style="float: right;">合計点 8 /10</span>		
◇歴史性への配慮	Q2/ 1.2.3 内装計画	スコア <b>4</b>
Q3/ 3.1 地域性への配慮、快適性の向上	スコア <b>4</b>	
格子+障子による 枯山水を模した中庭による歴史的建築空間の保全		

<b>◆独自加算項目</b> <span style="float: right;">合計点 0 /2</span>		
Q2/ 1.2.1 広さ感・景観	京都重点項目による加算により、レベル5を超える。	
LR3/ 3.3.2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	格子状ルーバーや簾状スクリーンによりガラス面等の反射光を抑制している、または外壁に反射率の低い自然素材を採用している等の推奨内容の取組みを、1以上実施している。	

#### 3 自然からつくる 合計点 30 /45

<b>■自然材料の利用</b> <span style="float: right;">合計点 11 /15</span>	
Q2/ 1.2.3 内装計画	スコア <b>4</b>
Q3/ 3.1 地域性への配慮、快適性の向上	スコア <b>4</b>
LR2/ 2.5 持続可能な森林から産出された木材	スコア <b>3</b>
自然素材を採用した内装計画 内装下地材へ京都産木材の採用	

<b>■自然環境の利用</b> <span style="float: right;">合計点 17 /25</span>			
Q1/ 3.1.1 昼光率	スコア <b>5</b>	LR1/ 2 自然エネルギー利用	スコア <b>3</b>
Q1/ 3.1.3 昼光利用設備	スコア <b>対象外</b>	LR2/ 1.2.1 雨水利用システム	スコア <b>3</b>
Q1/ 3.2.1 昼光制御	スコア <b>3</b>		
Q1/ 4.2.2 自然換気性能	スコア <b>3</b>		
客室における高い昼光率、事前換気性能の確保 格子+障子による共用部の昼光制御			

<b>◆独自加算項目</b> <span style="float: right;">合計点 2 /5</span>		
LR2/ 2.5 持続可能な森林から産出された木材	「持続可能な森林から産出された木材」のうち、地域産木材を使用している。	0
Q1/ 3.1.3 昼光利用設備	デザインされた格子状ルーバーやライトシェルフ、軒、庇等、推奨内容の昼光利用設備を採用している。	
Q1/ 3.2.1 昼光制御	デザインされた格子状ルーバーやライトシェルフ、軒、庇等、推奨内容の昼光利用設備を採用している。	
LR1/ 3 設備システムの高効率化	評価する取組みのうち、何れかの手法が採用されている。(但し、モニメントの計画を除く) 上記の内容に加え、利用量が15MJ/m <sup>2</sup> ・年以上となる場合。	0

<b>4 低炭素景観の創出に関する評価</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> Q1/3.1.3 昼光利用設備	<input checked="" type="checkbox"/> Q1/3.2.1 昼光制御	<input checked="" type="checkbox"/> Q3/1 生物環境の保全と創出	低炭素景観 取組数 <b>3/6項目</b>
<input type="checkbox"/> Q3/3.2 敷地内温熱環境の向上	<input type="checkbox"/> LR3/2.2 温熱環境悪化の改善	<input type="checkbox"/> LR3/3.3.2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	

<b>5 ライフサイクルCO<sub>2</sub>とCO<sub>2</sub>削減率</b>			
ライフサイクルCO <sub>2</sub>	<b>122.87</b>	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>	ライフサイクル CO <sub>2</sub> 削減率 <b>+26%</b>
(ライフサイクルCO <sub>2</sub> 参照値)	<b>166.07</b>	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>	
CO <sub>2</sub> 削減量	<b>-43.20</b>	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>	

<b>6 ウッドマイレージCO<sub>2</sub>とCO<sub>2</sub>削減率</b>			
ウッドマイレージCO <sub>2</sub>		kg-CO <sub>2</sub>	ウッドマイレージ CO <sub>2</sub> 削減率 <b>0%</b>
CO <sub>2</sub> 削減効果		kg-CO <sub>2</sub>	

「ウッドマイレージ計算書」から転記 : 自由記述入力欄